

資本コストや株価を意識した経営の実現 に向けた対応について

Marubeni
Construction Material
Lease

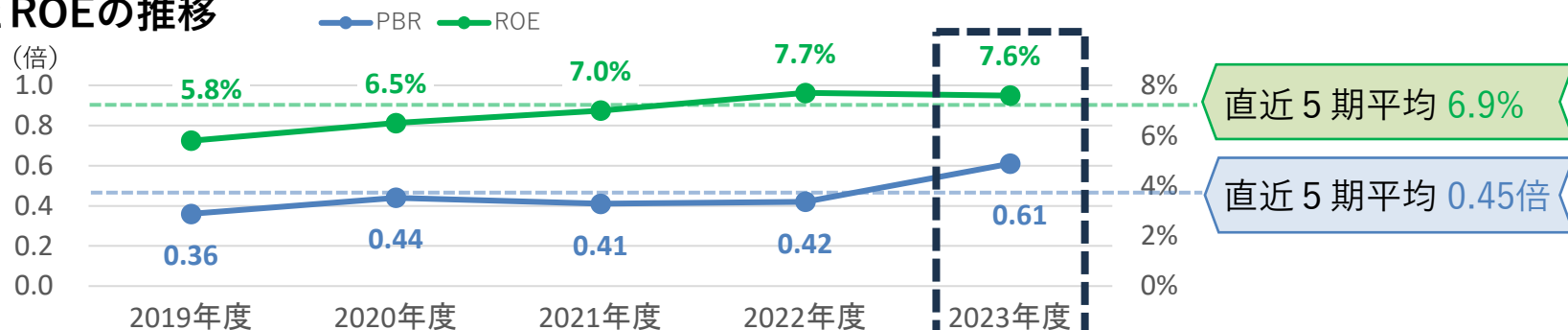
2024年5月10日
丸紅建材リース株式会社

Maruken

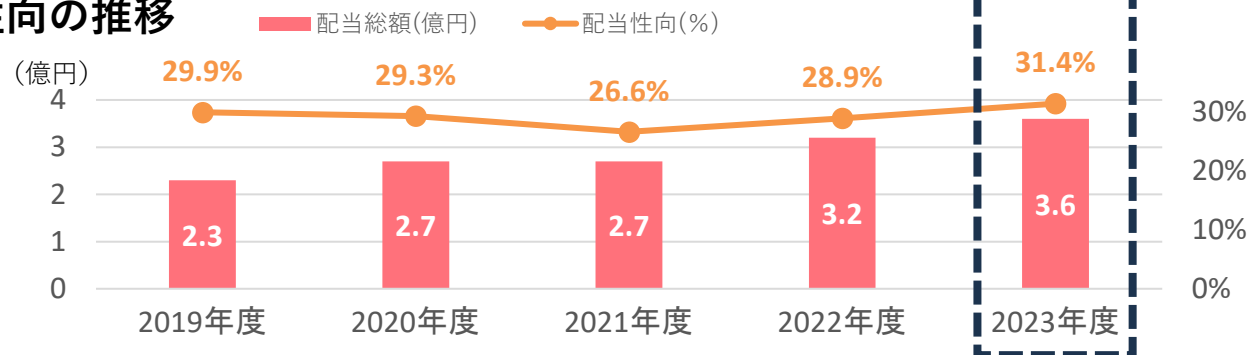
現状認識(2019年度～2023年度)

- P B Rは直近5期平均 0.45倍であったが、株価の上昇に伴い2023年度末は0.61倍
- R O Eは直近5期平均 6.9%であったが、2022年度・2023年度は株主資本コスト(約7%)を上回っている
- 配当性向は2021年度を除き、2019-2023年度 中期経営計画の目標値27%以上を達成

PBRとROEの推移



配当性向の推移



(上記配当金に加え、2022年度は自己株式3億円取得) ※2021年度連結当期純利益に対する総還元率は56.5%

過去5期累計で創出されたキャッシュフローは、主に新規事業投資(マルケンテック ジャパン・瑞馬丸建)と有利子負債の返済に充当し、財務体質の改善が進んだ。

企業価値向上へ向けて

PBRの改善=1倍以上を目指す

資本コストや株価を意識した経営を実現するために、新中期経営計画における成長戦略並びに企業価値向上に向けた下記施策を着実に実行し、実績を積み重ねることで、当社の持続的な成長への期待を高め、将来的にPBR 1倍以上を目指してまいります。

① 収益拡大

当期純利益**15億円以上**の達成
(新中期経営計画 最終年度目標)

② 資本効率改善

ROE **8.5%**以上(新中期経営計画目標)
※将来的には資本コスト約7%(現時点)+スプレッド2%
の**9.0%**以上を目指す

③ 株主還元方針

配当性向**35%**以上
(状況に応じて自己株式の取得を検討)

④ 成長及び設備投資

新規事業投資と既存事業の拡大
工場設備の機械化・自動化・省力化の推進
環境対策関連への投資

⑤ 人的資本経営の推進

ワークエンゲージメントを高める施策
人材開発支援の拡充と多様な社員の活躍

⑥ 社会課題への取り組み

サステナブルへの取り組み
2024年問題への対応